GeepeeBrothers/ GPs BASIC COURSE 2027

「シークエンシャル咬合」による

矯正・補綴的咬合再構成 Basicコース 2027

なぜその治療方針を選ぶのか、根拠をもって、自分の言葉で説明できますか。





自分の治療が本当にこのままでよいのか？ と迷うことはありませんか。
咬合再構成をする際に咬合高径の設定は正しいのか？ 下顎位の設定は正しいのか？ 顎機能や筋症状などの機能的問題を診断したのか？ 矯正と補綴のどちらを先行させるのか？　こうした基礎的な問題は最新と思われる様々な治療法や機器の知識を知っているだけではできません。

1980年代、ウィーン大学のスラビチェック教授は、咀嚼器官を顎関節、筋機能、咬合、顎運動などが相互に関係する一つの機能システムとして捉える考え方を体系化しました。その後、佐藤貞雄教授は、咬合平面、生理的に安定した顎位、顎運動と咬合誘導に関する考え方を、スラビチェック教授の機能システムの考え方に統合しました。こうして生まれたシークエンシャル咬合は、検査から診断、治療について一貫性のある実践的な臨床体系へと発展してきました。さらに、ブラキシズムを含む咀嚼機能や、顎位、咬合平面、顆路、ガイドなど、従来曖昧に扱われてきた問題を実験と計測によって検証し、歯科医師が根拠をもって診断・治療するための基準と原則を明らかにしてきました。
この12日間で学ぶのは、知識や技術の断片ではありません。それらをどう結びつけ、判断し、治療へつなげるかという、臨床の真の基礎そのものです。

共同代表 青木 聡　森本 淳史

全12日間

2027				2028	
5/15-16	7/3-4	9/11-12	11/27-28	1/15-16	3/11-12

● このコースで目指すこと

成長発育・骨格・顎位・顎運動・咬合を一つのシステムとして捉え、矯正と補綴を同じ診断原則のもとで考えます。複雑な症例でも、問題の本質を見極め、なぜその治療を行うのかを明確にし、根拠をもって治療計画を組み立てる力を身につけます。

● このコースで学ぶこと

1.頭蓋顔面の成長発育と咬合の形成を理解し、代償機構を用いた不正咬合治療の考え方
2.顎関節・筋機能・咬合を総合的に評価するための基本的な臨床診査
3.セファロ分析から骨格パターン、咬合平面、咬合の特徴を読み取る方法
4.咬合器を用いて顎位・咬合関係を再現し、治療の基準となる顎位を見極めるための評価法
5.顎機能検査（CADIAX）による顎運動記録と、顎運動・顆路・ガイドの関係の読み方
6.BruxCheckerを用いたブラキシズムの評価と、その臨床的な意味
7.各種診査結果を統合し、問題点の把握から診断・治療方針へ結びつけるプロセス
8.シークエンシャル咬合に基づくWAX UPと、咬合平面・顎位・ガイドの構築
9.局部義歯・総義歯・インプラント治療へのシークエンシャル咬合の応用
10.MEAWを用いた矯正治療の基本的な考え方と治療メカニクス

● 講師



顧問 佐藤 貞雄



青木 聡



森本 淳史



長谷川 篤史

中山 尚仁、西山 令生、山村 佳央、岩崎 隆之

東京・初台のGeepee Brothers研修所における講義・実習です。参加できない日はZOOMを通して参加できるハイブリッド形式です。

● 参加費　歯科医師　880,000円　（早期申込　2026.12月末迄　770,000円）　定員15名
歯科技工士・歯科衛生士 330,000円（税込・参考書籍代金含む）

● 教材　咬合器、矯正用器材等は必要に応じて各自購入してください。　（※実習で使用する咬合器およびCADIAXは、メーカーの協力により実習会場にてご用意します。受講にあたり事前にご購入いただく必要はありません。）

● 後援　㈱デンタリード　白水貿易㈱　㈱JM Ortho　㈱バイオデント　ゼブリスデンタルジャパン

● お支払い　三井住友銀行 神田支店　普通 2364445　株式会社エスアンドエス
クレジット決済（PayPal）希望の方は申込時にその旨記入してください。

● 事務局　東京都新宿区西新宿4-41-7 クレベール西新宿101 青木歯科内　担当　磯
FAX 03-6300-6393　gps190501@gmail.com

お名前 _____　□歯科医師　□歯科技工士　□歯科衛生士

歯科医院名（大学名） _____　TEL _____　FAX _____　E-mail _____

主催 Geepee Brothers　運営 ㈱エスアンドエス